

南山大学広報誌

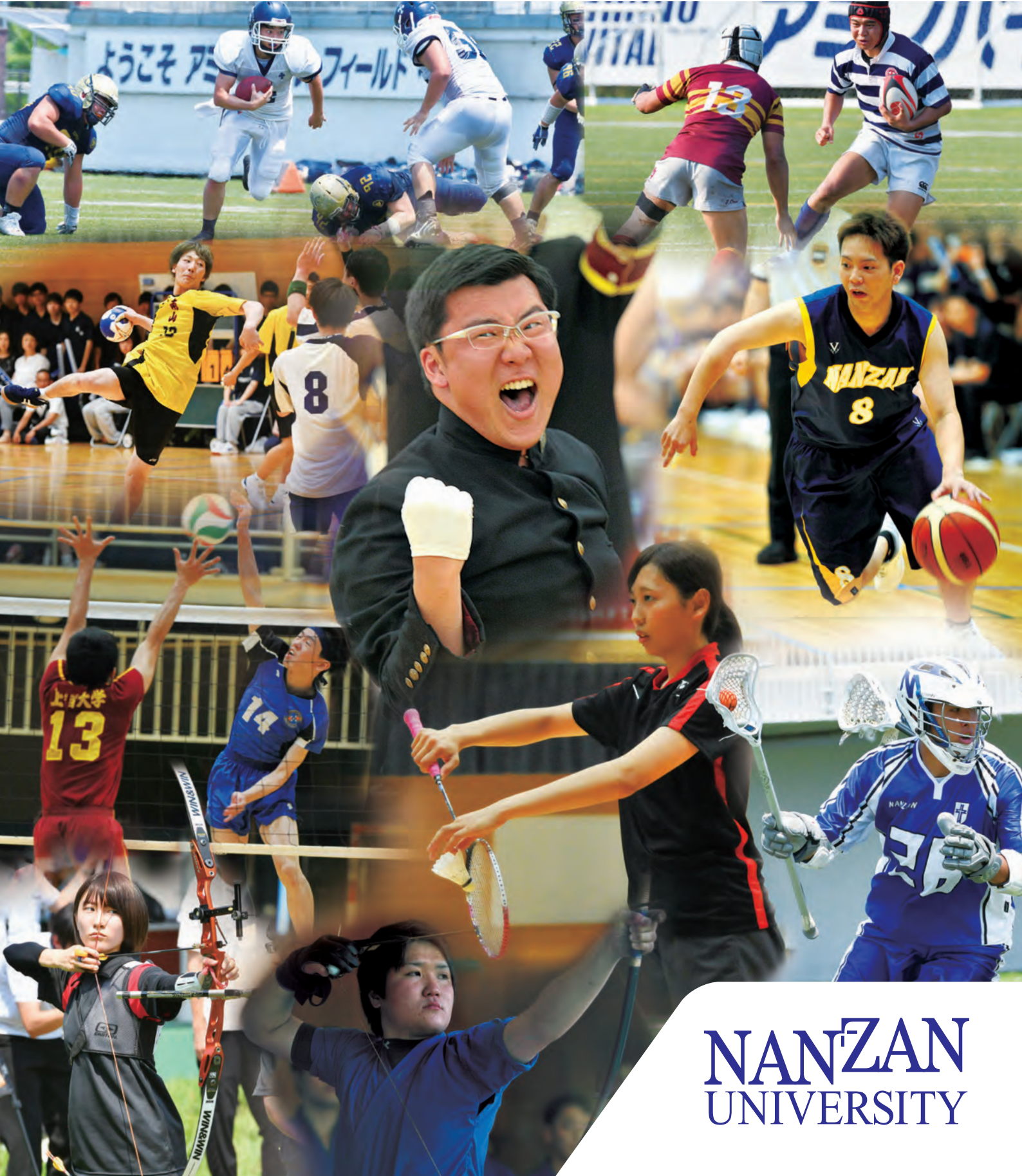
NANZAN

BULLETIN vol.202
2017. 9. 30

特集

多文化交流ラウンジ開設

南山ゆかたフェス初開催



NANZAN
UNIVERSITY

多文化交流 ラウンジ 開設

OPEN



2017年9月20日、R棟2階に「多文化交流ラウンジ」がオープンしました。このラウンジは、学内の国際交流教育の資源を集約する拠点として位置づけられ、全学生・教職員が利用できるスペースです。日常的に留学生との交流や国際交流に関心のある学生同士の交流ができるように、ラウンジ内は飲食可能となっています。また、Nanzan International Ambassador (NIA) と呼ばれる学生TAが中心となり企画するインターナショナルウィークや、留学生、同窓生、地域社会を巻き込んだ交流イベントなどさまざまなイベントを実施予定です。国籍や言語の枠にとらわれない多文化交流を通じて、多様な価値観を尊重し合い、ラウンジにおいても「国境のない学びの場」を提供します。

Stella (ステラ) : 多文化交流ラウンジの愛称

ラテン語で星を意味します。ひとり一人が光り輝き、それぞれの多様な「個」の価値観を尊重して、互いの絆が深まる交流ラウンジになるようにという願いが込められています。

Nanzan International Ambassador (NIA) :

国際センターと共同で、南山大学の国際化を推進していく学生TAです。学生の視点と発想で、多文化交流ラウンジの活動を企画、運営します。また、海外からの来訪者対応、学内外への広報活動のほか、ラウンジ利用者同士が居心地のよい環境で多文化交流できるようにサポートします。NIA自身もNIAの経験を通じて世界で活躍できるリーダーとなることを目指します。

6月22日(木)～23日(金)

海外大学生との交流イベント実施

オーストラリアのサザンクロス大学の学生と教員が来学し、ラウンジで2日間の交流イベントを実施しました。日本文化体験や名古屋観光などの“おもてなし企画”のほか、日豪和平について両大学生で共に考えるドキュメンタリー映画鑑賞会を催し、交流を深めました。活発な相互交流を通じて、異文化理解を深めるよい機会となりました。

7月5日(水)

プレオープンイベント開催

正式オープンに先駆けてプレオープンイベントを開催しました。Nanzan International Supporter (NIS) と呼ばれるサポーター学生や多くの課外活動団体の協力を得て、留学生を含めた200名以上の参加者が、縁日を模した「Japan Festival」を楽しみました。



NIAリーダー
奈良岡 圭吾
(総合政策学部
総合政策学科2年)



私たちNanzan International Ambassadorは、南山大学に在籍する留学生と日本人学生が、音楽や書籍、レクリエーションなどを通して言語の壁を取り払い、楽しみながら自然に交流できる空間づくりを目指しています。国際交流に積極的に関わる人だけではなく、興味があってもなかなか行動に移せない人も、ラウンジに気軽に足を運び、新たな交友関係を築いて欲しいと願っています。昼休憩や空きコマなどのちょっとした隙間時間の利用も大歓迎です。国際交流の一步を踏み出してみませんか？みなさんのお越しをNIA一同、お待ちしております！

■開室時間: 授業日平日8:30～20:00 ■場所: R棟2階 World Plaza隣

南山 ゆかたフェス

初開催



実行委員会のメンバーで、手書きで作成した横断幕。お祭り感を出せるように、花火や金魚で彩りました。



南山大学ゆかたフェス
実行委員会委員長
山口 和智
(法学部法律学科3年)

イベント当日まで、どのくらいの人が浴衣を着用してくれるのかなど不安が多く、大変でした。しかし、ゆかたフェスを通して日本文化についてあらためて知ってもらおうという目的のため様々な企画を実施し、多くの方に参加していただけたこと、参加者から「日本文化っていいね」「楽しい企画をありがとう」「また来年も参加します」と言っていたことは、実施してよかったと思いました。

来年は今年より「参加してよかった」とより感じてもらえるようにしたいと思います。今年参加できなかった方もぜひ、来年ご参加ください色鮮やかな南山大学にしましょう!!



お昼休みに日本文化紹介イベントを行い、よさこいサークル「せつな」がよさこいを披露し、伝統文化研究会「和つなぎ」が能を披露しました。また、日本文化学科の森田貴之准教授が浴衣に関する講演を行いました。

2017年7月17日、「南山ゆかたフェス」を開催しました。「浴衣を着て授業を受け、日本文化に親しんでもらおう」という趣旨のもと、当日は多くの企画を実施しました。

浴衣の無料着付コーナー、浴衣販売、グリーンエリアでの大撮影会、お茶会体験、日本文化の紹介イベント、フォトコンテストなど、企画したイベントは全て盛り上がり、参加した学生は写真を撮り合って交流を深めていました。

今回、南山大学で初めて実施した「南山ゆかたフェス」は、南山チャレンジプロジェクトに採択された「南山大学ゆかたフェス実行委員会」の学生が主催しています。委員会のメンバーは、より多くの学生に浴衣を着てもらうため、イベントの周知活動に力を入れていました。まず、学生交流センターのコアグループであるNECT(ネクト)と協力し、1,000部のうちわを作成して学内で配布しました。また7月5日には、多文化交流ラウンジのプレオープンイベントで学生スタッフや留学生と合同で、自分で浴衣を着ることができるよう、浴衣の着付講座も行いました。その他、ペンキを塗って横断幕を作成し、TwitterやWebページも開設するなど、積極的にイベント情報を発信して参加者を募りました。実行委員会のメンバーは、4月から約3カ月間の準備期間は大変だったと思いますが、皆さんの努力が実り、無事に今回のイベントを成功させることができました。また、浴衣を着て普段



学長も参加した大撮影会。体育会公認マスコットキャラクターのライナンくんも登場しました。

とは違う一日を過ごした南山大学生にとっても、学生生活の楽しい思い出作りができたと思います。実行委員の学生は、次年度の開催に向けて早くも企画の検討をしているようです。南山大学の夏の新たなイベントとして、来年もさらに盛り上がるよう、開催を期待しています。

フォトコンテスト
企画チーフ
太田 敦也
(経営学部経営学科4年)



大学生に情報発信しやすいSNSを使ったイベントを実施したいと考え、Twitterを利用したフォトコンテスト企画を立ち上げました。参加してくれそうな学生にヒアリングし企画の詳細を決定、チラシを配布するなどして、結果的に50名が参加してくださいました。

浴衣で写真撮影を楽しそうにしている姿をたくさん見られたこと、フォトコンテストは学生それぞれの一番楽しい瞬間がSNSを通じて集まってきて、その写真が多くの人に広まったことがとても嬉しかったです。普段話すことのない学生同士と一緒に写真を撮り合うことにより人と話す機会が作れたことも、ゆかたフェスの醍醐味だと感じました。



参加者に抹茶を点ててもらってお茶会体験。茶道松尾流南山会の学生が丁寧に指導を行いました。



フォトコンテスト入賞作品。南山大学ゆかたフェス実行委員会のTwitterに、他の入賞作品も掲載しています。



着付けコーナー
企画チーフ
辻 奈歩
(総合政策学部総合政策学科2年)

国際色豊かな南山大学だからこそ日本文化のイベントがあればと思い、企画しました。今年が初年度のため、何から何まで手探りで大変でしたが、ゆかたフェス成功のために多くの団体、サークル、企業様等のご協力もあり、当初の予定より大規模に実施できたことはとても嬉しかったです。

今回のイベントにご協力いただきました全ての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。現在、来年の実施に向けて企画検討していますので、活動に興味のある方はぜひ実行委員会までお問い合わせください。

【問合せ先】
南山大学ゆかたフェス実行委員会
Twitterアカウント: @nanzan_yukata

2017年度予算について

本学における収入構造を財務比率から見ると、2016年度決算では学生生徒等納付金比率79.5%、補助金比率8.0%となっており、この2つの金額が収入の大部分を占めています。この収入構造は2017年度予算においても同様で、今後も学生数確保、および補助金・寄付金などの外部資金獲得に向けさらなる努力を続けていく所存です。

2017年度からの新規事業として、既存校舎の改修を軸とした「南山大学名古屋キャンパス施設設備計画(第Ⅲ・Ⅳ期)」(2017年度～2021年度)に基づいた工事が開始されています。

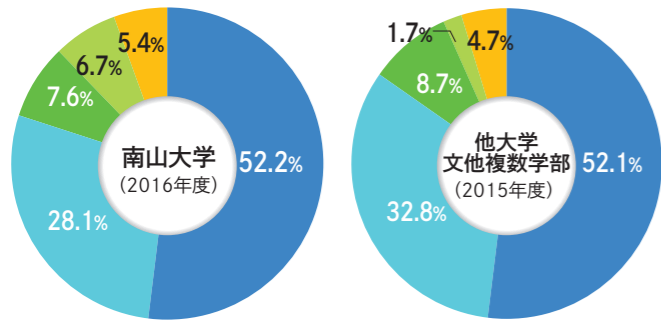
第5表 財務比率
事業活動収支計算書関連

比率	計算式(注)	南山大学			他大学 2015年度 (新基準)	評価
		2014年度	2015年度	2016年度		
人件費比率	人件費/経常収入	50.7%	50.3%	52.4%	53.1%	↓
人件費依存率	人件費/学生生徒等納入金	63.4%	63.4%	65.9%	64.0%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	28.2%	27.9%	28.2%	33.4%	↑
管理経費比率	管理経費/経常収入	7.7%	7.4%	7.6%	8.9%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息/経常収入	0.4%	0.5%	0.5%	0.2%	↓
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納入金/経常収入	79.9%	79.4%	79.5%	83.0%	↑
補助金比率	補助金/事業活動収入	8.0%	8.6%	8.0%	7.9%	↑
基本金組入率	基本金組入額/事業活動収入	6.8%	7.9%	1.0%	11.2%	↑
減価償却額比率	減価償却額/経常支出	9.3%	10.5%	10.1%	12.1%	～

(注)2015年度から学校法人会計基準が改正になり、2014年度は改正された会計基準への読み替えを行い算出しました。

事業活動収入に対する比率

比率	南山大学 (2016年度)	他大学文他複数学部 (2015年度)
人件費	52.2%	52.1%
教育研究経費	28.1%	32.8%
管理経費	7.6%	8.7%
その他の事業活動支出額	6.7%	1.7%
基本金組入額+当年度収支差額	5.4%	4.7%



貸借対照表関連

比率	計算式	南山大学		他大学 2015年度	評価
		2015年度	2016年度		
純資産構成比率	純資産/(総負債+純資産)	81.1%	81.8%	88.1%	↑
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額/(総負債+純資産)	7.2%	8.4%	△15.1%	↑
流動比率 ^(※1)	流動資産/流動負債	1007.5%	1027.1%	266.9%	↑
減価償却比率 ^(※2)	減価償却累計額/減価償却資産取得価額	48.0%	42.9%	50.5%	～
総負債比率	総負債/総資産	18.9%	18.2%	11.9%	↓
負債比率	総負債/純資産	23.3%	22.2%	13.5%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成28年度版「今日の私学財政」より、事業活動収支計算書関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

純資産(従来の自己資金)=基本金+繰越収支差額

総負債=固定負債+流動負債

※1 南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

※2 分子・分母とも図書を除く。

これまで、キャンパス統合に向けて着々とキャンパス環境の整備を進め、2015年度には「S棟」が、2016年度秋には新食堂棟「リアン」、同年度末には新研究・教室棟「Q棟」の供用がそれぞれ開始されました。2017年度より始まる本計画においては、これまでのキャンパス整備の流れを引き継ぎ、そのさらなる充実を目指します。

具体的には、「One Campus Many Skills」のメッセージに込められた、学部・学科の垣根を低くして真に1つのキャンパスで国境のない学びの場を実現するという目標とともに、既存施設の老朽化への対処や、耐震性の確保と情報通信技術(ICT)を活用した教育環境の整備を目指して、レーモンド建築の伝統を継承しつつ、セミナー室やラーニング・commons等、学生の居場所の整備、既存教室・既存施設の保全と機能向上を図るための改修を進めます。また、これらの改

第6表 2017年度 資金収支予算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位:千円)

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	10,426,645
手数料収入	782,197
寄付金収入	200,755
補助金収入	1,090,944
資産売却収入	30
付随事業・収益事業収入	202,106
受取利息・配当金収入	41,856
雑収入	225,237
借入金等収入	0
前受金収入	2,264,767
その他の収入	2,273,786
資金収入調整勘定	△ 2,568,744
当期収入合計	14,939,579
前年度繰越支払資金	36,220,670
収入の部合計	51,160,249

支出の部	
科目	予算額
人件費支出 (退職金支出)	6,923,530 (290,616)
教育研究経費支出	2,642,112
管理経費支出	840,618
借入金等返済支出	64,009
施設関係支出	791,743
設備関係支出	212,904
資産運用支出	14,400
その他の支出	2,175,468
予備費	26,105
資金支出調整勘定	△ 276,699
法人本部費配賦額	567,669
当期支出合計	14,286,299
翌年度繰越支払資金	36,873,950
支出の部合計	51,160,249

修は2017年度から導入されたクォーター制(いわゆる4学期制)のメリットとして考えられる、学生の自主的・能動的な学びの推進にも繋がるものです。

さらに、キャンパスの安全性・利便性を高めるとともに、キャンパス内動線に沿った施設の整備や、エレベーターの増設等によるキャンパス内のユニバーサル化にも取り組みます。

2017年度学長方針の最重要課題として掲げている「さらなる国際化の推進」に関連して、2017年度から従来の国際教育センターの機能を強化した「国際センター」を設置しました。本センターでは、派遣留学や留学生の受け入れ体制の整備のほか、国際戦略部門を新たに設置し、新プログラムの開発、海外大学との連携促進、海外の大学や留学生に対する積極的な広報等を進めます。また、2015年度に上智大学、上智大学短期大学部と共同申請し採択された文

第7表 2017年度 活動区分資金収支予算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位:千円)

科目		予算額
教育活動資金収支	学生生徒等納付金収入	10,426,645
	手数料収入	782,197
	特別寄付金収入	189,055
	一般寄付金収入	11,700
	経常費等補助金収入	1,062,691
	付随事業収入	202,106
	雑収入	225,237
	教育活動資金収入計	12,899,631
	人件費支出	6,923,530
	教育研究経費支出	2,642,112
管理経費支出	840,618	
教育活動資金支出計	10,406,260	
差引	2,493,371	
調整勘定等	161,156	
教育活動資金収支差額	2,654,527	
施設整備等活動資金収支	施設設備補助金収入	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	28,253
	施設整備等活動資金収入計	28,253
	施設関係支出	791,743
	設備関係支出	212,904
	第2号基本金引当特定資産繰入支出	0
	南山大学将来構想募引当特定預金繰入支出	14,400
	施設整備等活動資金支出計	1,019,047
	差引	△ 990,794
	調整勘定等	△ 32,226
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,023,020	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	1,631,507	
その他の活動資金収支	借入金等収入	0
	長期貸付金回収収入	11,082
	短期貸付金回収収入	250
	預り金受入収入	1,798,302
	貯蔵品売却収入	30
	その他の収入	29,115
	小計	1,838,779
	受取利息・配当金収入	41,856
	過年度修正収入	0
	その他の活動資金収入計	1,880,635
借入金等返済支出	304,440	
長期貸付金支払支出	30,500	
短期貸付金支払支出	3,250	
預り金支払支出	1,846,283	
その他の支出	16,606	
小計	2,201,079	
借入金等利息支出	64,009	
過年度修正支出	0	
その他の活動資金支出計	2,265,088	
差引	△ 384,453	
調整勘定等	0	
その他の活動資金収支差額	△ 384,453	
予備費	26,105	
法人本部費配賦額	567,669	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額-予備費-法人本部費配賦額)	653,280	
前年度繰越支払資金	36,220,670	
翌年度繰越支払資金	36,873,950	

第8表 2017年度 事業活動収支予算書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位:千円)

科目		予算額	
教育活動収入	学生生徒等納付金	10,426,645	
	手数料	782,197	
	寄付金	201,455	
	経常費等補助金	1,062,691	
	付随事業収入	202,106	
	雑収入	225,250	
	教育活動収入計	12,900,344	
	事業活動支出	人件費 (退職給与引当金繰入額)	6,834,162 (201,248)
		教育研究経費 (減価償却額)	3,883,503 (1,240,691)
		管理経費 (減価償却額)	976,257 (135,639)
徴収不能額等		0	
教育活動支出計		11,693,922	
教育活動収支差額		1,206,422	
教育活動外収入	事業活動収入 受取利息・配当金	41,856	
	その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計	41,856	
	事業活動支出	借入金等利息	64,009
		その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	64,009		
教育活動外収支差額	△ 22,153		
経常収支差額	1,184,269		
特別収入	事業活動収入 資産売却差額	1	
	その他の特別収入 (現物寄付)	110,549 (82,296)	
	(施設設備補助金) (過年度修正額)	(28,253) (0)	
	特別収入計	110,550	
	事業活動支出	資産処分差額	125,226
		その他の特別支出	0
	特別支出計	125,226	
特別収支差額	△ 14,676		
予備費	26,105		
法人本部費配賦額	549,631		
基本金組入前当年度収支差額	593,857		
基本金組入額合計	△ 1,114,390		
当年度収支差額	△ 520,533		
前年度繰越収支差額	5,814,191		
基本金取崩額	0		
翌年度繰越収支差額	5,293,658		
(参考)			
事業活動収入計	13,052,750		
事業活動支出計(※)	12,458,893		
経常収入	12,942,200		
経常支出	11,757,931		

(※)法人本部費配賦額を含む。

私の研究



平岩 俊司 (ひらいわ しゅんじ)
 総合政策学部 総合政策学科 教授
 専攻分野は、現代朝鮮半島論、東アジア国際政治。
 研究テーマは、韓国、北朝鮮の政治外交、朝鮮半島を巡る国際政治と日本。
 主な担当科目は、地域研究論、総合政策外国文訳講読(韓国朝鮮語)。

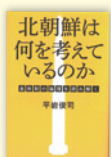
史問題などで複雑で微妙な問題を内包する関係となってしまいました。また、北朝鮮については、核ミサイル問題のみならず拉致問題の解決が日本外交にとってきわめて重要な課題となっています。さらに分断国家である韓国と北朝鮮はそれぞれ自ら優位な立場に立とうと通常的外交関係とは異なる相互応酬を繰り返し、時に軍事行動の可能性さえ見られる非常に緊張した状況が生まれます。核ミサイル問題で国際社会に挑発を繰り返す北朝鮮、歴史問題は今後の日韓関係にどのような影響を及ぼすのか、日本にとって余談の許さない状況が続きますが、朝鮮半島でいったい何が起きているのかを認識し、どうしてそうしたことが起きるのかを分析し、日本はこの二つの政権とどう向き合っていかなければならないのか、それを考えるのが私の研究テーマです。

激動の朝鮮半島と国際社会、そして日本

朝鮮半島を巡る国際政治が私の研究分野です。日本に隣接する朝鮮半島は、第二次世界大戦の後、東西冷戦の影響もあって即時独立はかなわず、韓国と北朝鮮の二つの政権が自らの正統性を主張する分断状況を強いられました。この朝鮮半島の動向は、日本にとっては隣接する地域として重要ですが、のみならず、米国、中国、ロシアの利益が交錯する地域として、より広い国際関係の文脈から日本にとってきわめて重要な意味があります。韓国については、冷戦期には同じ西側陣営に属し、安全保障、経済など、日韓双方の国益の観点から関係強化が進められましたが、歴



『独裁国家・北朝鮮の実像
 一核・ミサイル・金正恩体制』
 朝日新聞出版社
 (2017年、坂井隆との共著)



『北朝鮮は何を考えているのか
 一金体制の論理を読み解く』
 NHK出版社
 (2013年、単著)



『北朝鮮
 変貌を続ける独裁国家』
 中公新書
 (2013年、単著)



『朝鮮民主主義人民共和国と中華人民共和国
 一「密商」の関係、構造と変容』
 [日本語版]世織書房(2010年、単著)
 [韓国語版]선인(2013年、単著)

私のクラス



Arturo ESCANDÓN (アルトゥーロ・エスカドノ)
 外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科 教授
 専攻分野は、教育社会学、文化、歴史的活動理論、スペイン語教育法。
 研究テーマは、概念発達、記号による媒介、仮説検証、ダイナミック・アセスメントの研究。
 主な担当科目は、スペイン語文表現特殊研究、ラテンアメリカ史。

ラテンアメリカの歴史

ー世界初のグローバル社会としての歩みー
 現代世界の礎は、スペイン人が「新大陸」を征服し、植民地化したことで築き上げられたといっても過言ではありません。グローバルな規模で通商が行われるようになり、その影響力は、ヨーロッパ諸王国、とりわけスペイン王国の支配力を凌ぐほどの強大なものとなりました。
 アメリカ大陸における先住民の自由の所在と征服者と植民者による搾取の度合いをめぐる本質的な議論は、今日我々が「人権」と呼ぶ、人間が有する根本的な権利と深く結びついています。聖トマス・アクィナスにまで遡る中世のスペイン自然法理論を通じ、16世紀には、ヨーロッパ的な権利概念に一石

を投じたドミンゴ・デ・ソト師や、先住民の偉大なる擁護者であったバルトロメ・デ・ラス・カサス師といった人物が輩出されるに至りました。
 講義を通して学生たちは、「新大陸」の発見および征服以降の世界における、一国の枠組みを超えた超国家勢力の現前化と、それに連動した人類の挑戦を、目の当たりにすることとなるでしょう。また、君主制、重商主義、エンコミエンダ制、社会的分業、税金の納入、主権等の諸概念を把握するところから考察を開始し、支配権をめぐって世界に流布する諸システムを理解するところまで分析を深化させるよう試みます。植民地諸国の独立やキューバ革命といった、ラテンアメリカ史においてしばしば言及される出来事に内包される意義を理解することも、こうした視座に基づくことによるのみ可能となるものと考えています。



「ラテンアメリカ史」の授業風景



キャリア支援室
 プログラム紹介

キャリアデザイン講演会を実施

2017年7月12日に、南山大学卒業生キャリア・アドバイザーの荒川法優氏(1990年度法学部卒業、トヨタ自動車株式会社勤務)をお招きし、「キャリアデザイン講演会」を実施しました。荒川氏からは、自動車産業やトヨタ自動車についてご紹介いただいたほか、学生時代の今、取り組むべきこととお話いただきました。

荒川氏の感想・学生へのメッセージ

私の学生時代を振り返りますと、キャリア形成について考える意識も余裕も十分ではありませんでした。また、社会人として企業で働くこと、学生としての自分に接点を見出すことも困難で、就職活動時期に大変慌ててしまった反省があります。今回の講演会では、そうした私自身の事例をもとに、早い時期から自らの将来を考えることの大切さをお伝えし、その為の具体的な提案をさせて頂きました。学業や部活動等で多忙な毎日と思いますが、人生の大半を過ごす社会人として自らの「目指す姿」やキャリア形成を考える「気づき」のきっかけとなれば大変嬉しく思います。
 今回講演のご依頼を頂き、私自身にとっても自らのキャリアを見つめ直し、今後に向けた自己啓発の機会となりました。感謝申し上げます。
 これからも、後輩の皆さんがより充実したキャリア選択をされるよう、卒業生の一先輩としてできる限りのご協力させて頂きたいと思っております。

参加学生の感想

- ・仕事上ではコミュニケーションと対人関係、社会人としてのスキルアップ等がとても大切だとわかりました。キャリア形成のプロセスの説明はとても分かり易く参考になりました。
- ・実際のお話を聞いてよかったです。今日の話をも自分の力へ変えられよう努力したいです。

秋学期からも多彩なプログラムを実施します!

低年次から万全の体制でキャリア形成支援をサポートしています。学生の皆さんは、是非参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

10月	テーマ別ワークショップ 「海外と関わる仕事」「女性の働き方」など	ワークを通じて、テーマ毎に必要な能力・資質とは何かを考えます。
11月～12月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。

就職支援プログラム(2019年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	これまでの振り返り、秋学期のスケジュールの確認など(先輩の体験談含む)
10月～12月	就職講座【文理別】 「自己理解・自己PR」「業界・職種研究」「志望動機・ESの書き方」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
10月～11月	筆記試験対策	SPI模試、SPIフォローアップ講座
12月	グループ選考対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前の総まとめ
2月	エントリーシート・面接対策	ES・面接準備ワークショップ
3月	学内会社説明会 [2016年度実績:文系 244社/理系 87社]	学内にて南山大生を対象とした会社説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、Uターンガイダンスや外国人留学生ガイダンス、障がいのある学生のためのガイダンスを実施します。
 ※就職相談は随時受け付けています。

活躍する南山大生

ラクロスU22女子日本代表として国際大会に出場 日本優勝

法学部法律学科4年の今井美波さんと、総合政策学部総合政策学科4年の堀崎菜さんが、2017年度女子22歳以下のラクロス日本代表に選出され、2017年6月に韓国で開催されたアジア・パシフィック選手権大会に全試合出場、得点を挙げるなど日本の優勝に貢献しました。



(左)堀崎さんと(右)今井さん

2人によると、2016年度の東海地区夏期リーグ大会で日本代表強化部の方から強化選手に推薦され、全国から約140名が招集。今年1月から4回の練習会や合宿、国際親善試合に参加し、最終的に18名の日本代表枠に入りました。

今井さんは、「強化選手には自分より実力が上の選手も多く、また大学のラクロス部の練習を休んでいるということもあり、大会までは辛い気持ちが強かったです。大会で優勝し大きな達成感を得ることができ、また、周りの選手、コーチからも多くを学び、日本代表として出場できたことの喜びとともに、人間として成長できたと感じています。大学2年生の時、先輩が日本代表選手として活躍されているのを見て、自分も日本代表になりたいという目標のもと頑張ってきました。目標が達成できた今、自分も後輩のよい刺激になるよう、ラクロス部を引退するまで精一杯頑張りたいと思います。」と話してくれました。

堀崎さんは、「プレッシャーはありましたが、周りからの温かいメッセージ、いつも励ましてくれるコーチ、選手に囲まれ、大会中はとても楽しかったです。強化選手として練習を開始したとき、ハイレベルな選手に囲まれ、自分がここにいて良いのかと悩む時期もありました。しかし、元U22日本代表の先輩に『自分の強みを伸ばせばよい』とアドバイスをいただいたからは他の選手を見て学ぶ姿勢になることができ、成長できたと思います。今の自分があるのは、ラクロス東海ユース所属時のコーチに、人として、選手として大事なことをたくさん教えていただいたおかげです。いつか自分も東海ユースのコーチになればいいと思います。」と話してくれました。

「パイン甘酒スムージー」など 経営学部学生と甘強酒造が共同開発

経営学部経営学科3年で石垣ゼミナール所属の綾部奏さん、高橋月菜さん、正木あすかさん、松井燦彦さんが、甘強酒造株式会社と共同で甘酒を使った商品を開発し、2017年8月5日に愛知県海部郡蟹江町で開催された須成祭で販売しました。

地域活性化について研究したいと集まった4人。メンバーの1人が海部郡在住ということもあり、蟹江町の魅力を外に発信したいと思っていたところ、蟹江町の甘強酒造に見学に行く機会があり、「こんなに良い商品を作っている会社があるならぜひコラボしたい」との想いからこの企画は始まったそうです。

共同開発した商品は、りんご甘酒、ゆず甘酒、パイン甘酒スムージーの3種類。米麹から作られた健康に良い甘酒を広い世代の人に知ってもらうため、SNS映えする透明のジュースカップに入れて販売。「生のフルーツを使用したスムージーを作るため、試作の結果パインナップルを選びました。夏らしくさっぱりとした後味が好評でした。今後は、甘強酒造、そして蟹江町をより多くの方に知っていただくため、蟹江町外でも商品が販売できればと思っています。」と話してくれました。



(左から)高橋さん、綾部さん、正木さん、松井さん

「カル肩クッショントート」 経営学部学生とDHCが共同開発

経営学部経営学科4年川北ゼミナール所属の荒川誠さん、楠えりかさん、石田温香さんと株式会社ディーエイチシーが共同開発した商品「カル肩クッショントート」が、2017年9月7日に発売されました。2016年11月27日に法政大学で開催された「スカレ(Student Innovation College)」の「冬カン(Winter Conference)」においてテーマ1位を受賞し、商品化の権利を獲得したことにより実現したものです。

「DHCフィットビューティー・バッグ」というテーマのもと3名は「カル肩クッショントート」を提案。健康軸のスポーツ系バッグという条件があったこともあり、DHCの購入層である30代～50代女性にスポーツジムや街頭でアンケートを実施。健康を支える商品とは何かを考え、アンケート結果から得た、バッグを持っている時の不満点である肩こりを解消できたらとの思いから肩への負担軽減に重点を置いたバッグを提案したそうです。

「持ち手にはクッションを入れ、肩が痛くなりにくい。スポーツジム利用者のことも考え、内側ポケットの一つにはギャザーをつけ、靴を入れやすい構造にしました。」
「色、生地選びなど、DHCの方が自分たちの意見を多く取り入れてくださり、一からものづくりが出来るととても良い経験になりました。」と話してくれました。



(左から)荒川さん、石田さん、楠さん

「MAMA LEISURE」 経営学部学生と絆工房が共同開発

経営学部経営学科4年川北ゼミナール所属の渡部将成さん、大谷悠花さん、山本彩友美さんと株式会社絆工房が共同開発した商品「MAMA LEISURE(ママレジャー)」が、2017年冬から受注販売を開始します。2016年11月27日に法政大学で開催された「スカレ(Student Innovation College)」の「冬カン(Winter Conference)」においてテーマ1位を受賞し、商品化の権利を獲得したことにより実現したものです。

普段にも着られるスポーツウェアの「アスレジャー」というテーマ、「妊婦さんや子育てをするママを幸せにする商品を作りたい」という考えのもと、アスレジャーに授乳口やサブプリフレ*、シームレス等の付加価値を追加し、マタニティヨガの際から卒乳後の普段着として長く着られる「MAMA LEISURE一輝くママの着るサブリー」を提案。企画にあたりショッピングセンター、ヨガスタジオ、授乳服のお店等で100名を超えるママにヒアリングを実施。「子育ては情報戦」「ママは正しいと思ったものにはお金を出す」という結果を得て、MAMA LEISUREのWebページにはお悩み相談所も開設予定です。

開発に携わった学生は、「ママのお悩みを解決したい!協力してくださった方々に恩返ししたい!という想いで頑張りました。悩み、迷い、たくさんの壁はありましたが、とても貴重な経験ができ、またMAMA LEISUREと向き合った時間は何より楽しかったです。」と話してくれました。



(左から)大谷さん、渡部さん、山本さん

※ 絆工房が開発した、超微粒子トルマリンと超微粒子備長炭を繊維に練りこんだ生地。

Special Events

2017.7.7-2017.7.9

第58回上南戦

7月7日から7月9日の3日間にわたり、第58回上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)本戦が上智大学で開催されました。今年は南山大学でクォーター制を導入したことに伴い例年より1カ月遅い開催となりましたが、各競技で熱戦が繰り広げられ、互いに譲らない接戦の試合もありました。総合成績は南山大学9勝、上智大学22勝で、残念ながら総合準優勝となりましたが、参加した選手たちをはじめ、応援団、OB・OGの方々、父母、教職員など、関係者が一つとなり、各会場は大いに盛り上がりを見せました。

総合優勝
上智大学

準総合優勝
南山大学

総合成績
9勝22敗

第1回大会からの
通算成績
南山17勝
上智36勝
引分5

水泳	南山 249.5 - 267	上智
サッカー	南山 0 - 3	上智
ハンドボール	南山 31 - 35	上智
ゴルフ	南山 0 - 6	上智
少林寺拳法・合気道	オープン競技として実施	
柔道	南山 5 - 1	上智
バレーボール(男子)	南山 2 - 3	上智
バレーボール(女子)	南山 3 - 1	上智
バドミントン(男子)	南山 2 - 3	上智
バドミントン(女子)	南山 5 - 0	上智
弓道(男子)	南山 86 - 87	上智
弓道(女子)	南山 28 - 34	上智
剣道(男子)	南山 0 - 1	上智
剣道(女子)	南山 1 - 3	上智
硬式庭球(男子)	南山 6 - 3	上智
硬式庭球(女子)	南山 2 - 3	上智
硬式野球	南山 4 - 11	上智
ラクロス(男子)	南山 15 - 8	上智
ラクロス(女子)	南山 11 - 7	上智
アメリカンフットボール	南山 12 - 33	上智
ラグビー	南山 0 - 88	上智
軟式庭球(男子)	南山 5 - 3	上智
軟式庭球(女子)	南山 2 - 3	上智
陸上	南山 119 - 117	上智
卓球(男子)	南山 1 - 4	上智
卓球(女子)	南山 1 - 3	上智
バスケットボール(男子)	南山 51 - 89	上智
バスケットボール(女子)	南山 52 - 56	上智
フェンシング	オープン競技として実施	
準硬式野球	南山 6 - 11	上智
洋弓(男子)	南山 3384 - 3608	上智
洋弓(女子)	南山 2205 - 2203	上智
アイスホッケー	南山 0 - 17	上智

上南戦 学生の声



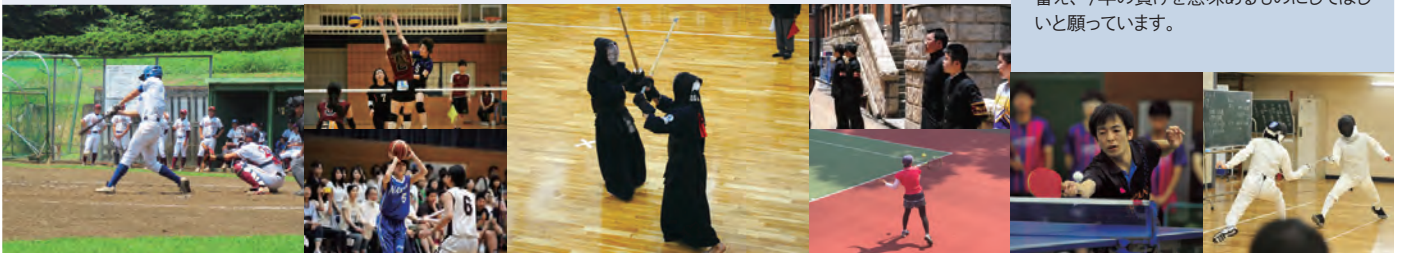
第58回上南戦実行委員長
基礎スキー部所属
須藤 篤子
(人文学部人間文化学科3年)

伝統ある第58回上南戦が成功裏に閉会し、大会関係者をはじめ支えてくださった全ての方々に学生を代表し深く感謝申し上げます。

酷暑の中での戦いとなった今回、選手の皆さんをはじめ参加者全員が体調管理など自己管理能力を試される大会であったのかもしれませんが、そのような過酷な状況下でも、選手の皆さんは日々の鍛錬の成果を結果につなげようと精一杯プレーしてくれました。しかし、昨年敗れた上智大学のリベンジへの気迫、勝利への執念に今回は屈してしまいました。勝つことはやはり難しいです。来年は上智大学を南山大学で歓迎し、そして必ずや総合優勝を成し遂げてほしいです。

勝利すれば選手、スタッフ、観客が歓喜し、負ければ悔し涙を流す。上南戦の一戦一戦にスポーツの醍醐味全てがあっただよに思います。そしてその中には、常に選手の皆さんの戦う姿があり、互いへの尊敬の念があります。

上南戦は来年も、そしてこれからも永く引き継がれることでしょう。来年に向けて力を蓄え、今年の負けを意味あるものにしてほしいと願っています。



2017.7.22-2017.7.23

オープンキャンパス

7月22日、23日の2日間で、2017年度オープンキャンパスを開催しました。

全学部の学部説明会や模擬授業をはじめ、学生によるキャンパスツアー、在学生による特別企画、相談コーナー、クラブ活動紹介など多くの企画を実施しました。

また、地域貢献の一環として一般の方を対象とした公開講座も同時開催し、本学教員の教育活動や研究成果を紹介しました。

両日とも酷暑となりましたが、どのコーナーも盛況で、2日間合わせて過去最高の8,480名の方にご来場いただきました。



2017.7.30, 2017.8.5-2017.8.8

小・中学生向け講座 「大学で、未来の自分を探してみよう!」

南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)・中学生を対象とした講座を開講しました。いずれの講座も大学の教室や施設を利用し、教員や学生と一緒に学ぶ体験型の講座です。今年は9講座を設定し、一部の講座は台風の影響により中止となったため、全部で7講座の開講となりました。

「有罪・無罪を決めるのは君だ!」の講座では、大学生が検察官役、被告人役を行い、参加した小学生に裁判員役を行っていただきました。設定された事件について、検察官が有罪、被告人が無罪とそれぞれ主張し、さまざまな証拠から検察官、被告人のどちらの主張が正しいのかをグループごとに大学生も交えて討論し、意見を発表しました。模擬法廷で行ったこともあり、「裁判の仕組みがよくわかりました。」「自分でも有罪・無罪を決めるのは君だ!」の様子



「有罪・無罪を決めるのは君だ!」の様子

罪・無罪を決めることができるとも楽しかったです。」等の感想が寄せられました。



「考古学者になりきろう!一縄文土器を研究する」の様子

2017.8.8-2017.8.12

夏休み水泳教室

8月8日から8月12日までの(8月10日を除く)4日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。5日間での開催予定でしたが、8月7日は台風の影響により中止となり、今年4日間の開催となりました。

この教室は小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教えるもので、毎年繰り返し受講される方がいるほどの人気の教室です。6種類のコースから希望コースを選択し、泳力別にグループ分けをして練習を行いました。今年もたくさんの受講者の方々が、楽しみながら泳ぎの上達を目指しました。



Special Events Schedule

2017.10.14

野外宗教劇「受難」

10月14日(土)18時からパッペ・スクエアで第51回野外宗教劇「受難」を公演します。[小雨決行、荒天時は10月21日(土)に順延]

野外宗教劇「受難」はカトリック大学である本学を代表する伝統行事であり、イエス・キリストのエルサレム入城からゴルゴダの丘における十字架の死を経た復活までを、大学公認の課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わる全てのことを学生たち自身が行います。



2017.10.28

受験生のための入試相談会・保護者のためのキャンパス見学会

10月28日(土)12時30分～17時に、「受験生のための入試相談会」と「保護者のためのキャンパス見学会」を同時開催します。これは、一般入試、全学統一入試、センター利用入試の受験予定者と高校生の保護者向けのイベントで、当日は受験生向けと保護者向けにそれぞれ説明会などを実施します。また、



個別相談コーナーや在学生によるキャンパスツアーも実施予定です。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



2017.10.31、2017.11.5

法学部開設40周年記念事業

1977年4月に法学部を開設し、今年度40年を迎えました。開設40周年を記念し、記念講演会および記念パーティーを南山大学内で開催します。

【記念講演会】

日時:2017年10月31日(火)11時05分～12時35分
場所:B31教室(仮)

講師:近藤猛司名古屋高等裁判所判事(南山大学法学部出身)

演題:「法学部卒業後の歩み～裁判官としてのキャリア～」

対象:南山大学法学部在学、卒業生、および一般の方

※卒業生・一般の方は、

法学部事務室(n-lawyer@nanzan-u.ac.jp)までE-mailでお申込みください。

【記念パーティー】

日時:2017年11月5日(日)17時～

場所:C棟1階 1SYOKU

会費:1,000円(記念品代含む)

対象:南山大学法学部卒業生、南山大学教育職員および名誉教授

※Webページでの事前申込制となっております。お子さま連れでのご参加も歓迎です。お気軽にご参加ください。



詳細は法学部Webページをご確認ください。

<http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/HOUGAKU/>

2017.11.3-2017.11.5

大学祭「南山祭」

11月3日(金・祝)から11月5日(日)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「パレード」。このテーマには、「パレードのように華やかな普段とは違った特別な空間を、学生や来場者の方々全員に楽しんでいただきたい」という願いが込められています。



2017.11.12

南山大学・豊田工業大学連携講演会

11月12日(日)に、南山大学と大学間連携協定を締結している豊田工業大学との連携講演会を、南山大学フラッテンホールで開催します。

今回は環境という観点から、本学経済学部寛多康弘教授が「グローバル経済と環境・資源問題」、豊田工業大学工学部竹内恒博教授が「持続可能な省エネルギー社会の構築に寄与する機能性材料の開発」をそれぞれ講演します。

詳細は大学公式Webページ「南山大学・豊田工業大学 連携ニュース一覧」をご覧ください。



http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/koho/toyokou_list.html

News

法学部 洪恵子教授が、日本人初国連人種差別撤廃委員会委員に選出

法学部法律学科の洪恵子教授が、2017年6月22日にニューヨークの国連本部で行われた人種差別撤廃委員会の委員選挙で132票を獲得し、トップ当選を果たしました。

人種差別撤廃条約は、あらゆる形態の人種差別をなくすことを目的として1965年に国連総会で採択され、現在178カ国が条約を締結、国連の人種差別撤廃委員会が条約の履行状況を監視しています。

日本から立候補した洪教授は国際法を専門としており、国際刑事裁判所(ICC)締約国会議日本政府代表団の一人としての経験や、「難民審査参与員」を務める等、国内外で幅広い活躍をされています。洪教授によると国連人種差別撤廃委員会に選出されたのは日本人で初めてで、2018年1月20日から4年間の任期を務めます。

洪教授は「このたびは多くの締約国の支持を得て委員に選出され、光栄に存じます。今後は、あらゆる形態の人種差別撤廃に向けて委員として責任を果たせるよう、努力していきたいと思っております。」とお話くださいました。



南山のDNA

個の力を、世界の力に。



鷲津 翔太

理工学研究科
機械電子制御工学専攻博士前期課程
2014年度修了

私は機械が好きで、情報理工学部(現在の理工学部)に入学しました。学生生活の中で自動車への興味が芽生え、大学院を修了し自動車部品メーカーに入社しました。現在は研究内容を生かし、近年話題の「自動運転」に代表される先進運転支援システムの開発に従事しています。

私が所属した研究室では、研究に負けず劣らず「英語」を重視していました。最先端の学術論文は基本、英語で執筆されており、ご指導いただいた教授、准教授は学生に対し、英語で論文執筆をし、国際学会へ投稿することを強く推奨しました。多くの壁がありましたが、そのような環境で研究成果を世界に発信することを通して、私の僅かな「個の力」でも世界の技術進歩に貢献できる喜びを知りました。

会社に入社してからは、1つの製品を創り

上げるために多くの人と関わりました。大団体の1人ですが、私の業務は世界中で走る自動車の品質に影響します。ときには力不足を実感しますが、



アイシングループの展示館「コムセンター」で撮影

Profile

学生時代は制御工学を研究。大学院修了後、アイシングループ株式会社に入社。現在は自動車のADAS(Advanced Driver Assistance System:先進運転支援システム)領域の先行開発部門の一員として、車両制御システムの開発に従事。

「自らの能力を磨き、周りや協調し壁を乗り越えた経験は、私に喜びを与えてくれる。そこで得た成果は世界をより良くする可能性を秘めている。」と私は考えています。私なりの「個の力を、世界の力に。」は南山での学生生活でアイデンティティとなり、環境は違えども、私の行動指針となっています。

自動車産業は近年、その産業構造を抜本的に変える波が訪れています。その最前線で働く私達に、退路はありません。言い換えるならば、退路は往々にして私達の前方に現れます。新卒で入社して現在3年目。「若手」の立ち位置ですが、1人の技術者として、担当業務には年功のない責任が求められます。「個の力を、世界の力に。」を胸に、目の前の課題に対し、共に働く仲間と知識を織りなし、世界をより良くする製品を開発したいと考えています。



海外からの
ご来訪



シンポジウムに出席するため、チリ大使館のグスタボ・アジャレス駐日チリ大使とクラウディア・アラベナー等書記官が来学され、鳥巢学長を表敬訪問されました。

2017.6.24

南山大学「国連アカデミック・インパクト」関連事業「チリ-日本修好120周年記念シンポジウム」を南山大学ラテンアメリカ研究センター、チリ大使館、日本・スペイン・ラテンアメリカ学会(CANELA)主催、南山大学外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科共催で開催しました。



2017.7.18

韓国・韓南大学の李 憲薫総長、裴 貞烈日語日文学科院長、鄭 忠永入学広報部長ほか2名の方が来学されました。

韓南大学は本学の交換留学の協定校となっているほか、本学総合政策学部のNAP(南山短期アジア留学プログラム)の受入れ先となっています。また、本学法学部、法科大学院とは毎年11月に教員のみでなく学生も参加しての学術交流会を実施しています。

韓南大学の方々には学長表敬訪問された後、留学生交流に訪れるミーティングを行い、人類学博物館等を見学されました。その後、交換留学、法学部交換派遣予定学生、NAP参加予定学生と面談しました。



Information

後援会定例評議員会

2017年6月24日(土)南山大学フラッテンホールで、南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会是在学生の父母等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から105名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2016年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2017年度事業計画および予算について審議・承認されました。これにより2017年度は、9月30日(土)に第45回「父母の集い」を開催することが決定されました。



後援会Webページ

<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>



後援会貸借対照表

2017年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	164,213,322	課外活動援助基金	119,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	3,304,655
合計	164,213,322	合計	164,213,322

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2016年度決算	2017年度予算
取入部		
前期繰越金	4,409,125	3,304,655
入会金	2,365,000	2,360,000
会費	186,427,500	187,700,000
合計	193,201,625	193,364,655
支出部		
教育・研究活動等支援援助金	176,000,000	178,000,000
留学生支援活動援助費	(59,200,000)	(59,000,000)
教育研究図書援助費	(57,000,000)	(60,000,000)
広報活動援助費	(21,500,000)	(13,000,000)
課外活動援助費	(32,000,000)	(38,000,000)
就職指導活動費	(6,300,000)	(8,000,000)
後援会活動費	9,896,970	10,100,000
父母の集い	(1,542,923)	(1,800,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,882,447)	(5,900,000)
事務費	(1,271,600)	(1,200,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費		0
次期繰越金	3,304,655	864,655
合計	193,201,625	193,364,655

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	115,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
合計	119,724,604	合計	41,184,063

友の会評議員会・総会

2017年7月19日(水)ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月19日現在の会員数は一般会員275名、法人会員127法人となっています。

総会では、(1)2016年度事業報告および決算報告、(2)役員の変更(案)、(3)2017年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、総会をもって会長を退任される安井義博氏(顧問に就任)、監事を退任される坂野和秀氏に対し、鳥巢学長より感謝状と記念楯が贈呈されました。また、この総会には今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の海外留学(派遣)奨学生も参加させていただき、岡谷篤一副会長より奨学生採用通知書が授与されました。その後行われた懇親会では、奨学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ

<http://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

退職

●経済学部
准教授 吉見 大洋
2017年8月31日付

●人文学部
准教授 吉橋 由香
2017年9月30日付

新任用教員紹介

2017年9月1日付

●人文学部
講師 SUSAIRAJ, Antony (専攻分野:宗教学、南アジア地域研究)

●理工学部
教授 石原 靖哲 (専攻分野:データベース理論、情報セキュリティ)

●外国人留学生別科
語学講師(別科L.L.) 磯山 真紀 (専攻分野:言語学、日本語教育)

寄附者ご芳名

「南山大学将来構想募金」へのご協力に感謝いたします。

南山大学体育会OB会様	不破真弓様	西村直人様	山内義之様	井口義行様
南山大学同窓会東三河支部様	亀井貴充様	岩月敏晴様	天春優子様	清水久美様
南山大学同窓会岐阜支部様	木全芳巳様	黒田弘哉様	川嶋未有希様	中島経年様
本多久様	藤井規宏様	濱口真理子様	河北直美様	池田達彦様
富田秀雄様	梶 三郎様	玉野文香様	山田日登志様	牛田昌弘様
近藤健一郎様	各務貞三様	奥田幸弘様	山崎宜久様	近藤倉弘様
山下 純様	近藤恵介様	伊藤則男様	三浦ゆかり様	渡邊浩太郎様
近藤直樹様	遠藤経子様	平松正行様	中西賢一様	
高橋 澄様	田中 章様	科野集蔵様	日美江利子様	
三品雅義様	田中和枝様	安川祐一様	早川明利様	

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

南山大学同窓会様
岩月敏晴様
千草秀彦様
匿名ご希望者
3名様



南山大学

発行 学長室/〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp http://www.nanzan-u.ac.jp/